



桂川町へのインタビュー

嘉穂東高等学校の生徒が訪問

嘉穂東高等学校2年生の生徒14名が7月17日(金)に桂川町へのインタビューのため住民センターを訪問しました。

インタビューの中で「屋内の遊び場が少ない。」「夏まつり桂川やときめきウォークけいせんを続けてほしい。」「都市部にあって桂川町に足りないものはなんですか？」など、若い方の率直な視点から質問や意見がありました。今回訪問した生徒の中には桂川町在住の方が2名おり、「町が実施している移住支援や新婚世帯への支援などの施策について、今回のインタビューをきっかけに知ることができ、非常に良かった。」「町が行政区や町民の要望等に応じ、地域のためにより良い町づくりを進めていることを改めて実感しました。」とそれぞれ語っていました。



▲桂川町在住の井上結仁さん(左)、間藤紗希さん(右)



自衛官の募集円滑化にご尽力いただいています

自衛官募集相談員を委嘱

自衛官募集相談員として、桂川町および自衛隊福岡地方協力本部より緒方雅徳さん(土師)に委嘱しました。任期は令和8年7月から2年間となっております。緒方さんは、「自衛官の人員確保が非常に難しい。予備自衛官としての経験を活かし尽力していきたい。」と話されました。

【自衛官募集相談員とは】

自衛官募集相談員は、自衛官志願者への情報提供をはじめ、自衛隊地方協力本部が実施する募集のための様々な広報活動にご協力いただいている町(市)民の方々です。

町(区市村)長と自衛隊地方協力本部長の連名により委嘱されています。



犯罪や非行のない、安全安心な社会への実現へ

保護司会が表敬訪問・街頭啓発

7月1日(水)、第76回社会を明るくする運動に向け、飯塚保護区保護司会の大森成順会長から井上町長へ、内閣総理大臣および福岡県知事からのメッセージが伝達されました。

また、7月8日(水)には、飯塚保護司会桂川分区の保護司による街頭啓発がトライアル桂川店でわれ、犯罪や非行の防止を訴える啓発チラシやティッシュなどが配られました。桂川町では、6名の保護司の方が活躍されています。

